

トラック2縁談から添い寝導入

\*帰宅後、昼食を終えてこれから縁談が始まるまでのお話です

「お粗末様でした」

「兄さんはこれから客間で面会だよねえ、私もあってみてもいい」

「もしかしたら私のお姉さんなるかもしれない人なんだし、どんな人かだけでも知っておこうと思って」

「百聞は一見にしかずだよ兄さん」

「ええー、それでもダメなんだ  
：わかった、大人しくしとく」

「って、もしかしてあの人がそうかな  
兄さんは写真見て一応顔は知ってるんでしょ？」

「やっぱりあの人なんだ」

「へえー、めちゃくちゃ美人さんだ  
あんな人この町で見たことないけど、一体どこの人なんだろ」

「あれで性格良かったら完璧だよね」

「兄さん？ちょっと兄さんってばひょっとして見惚れてたの？」

「あっそう、別にいいけど…」

「ひな、わがまま言っていないでおとなしく待ってなさい」

「ごめんなさいね、

この子お兄ちゃんのことになるといつもこうで」

「ちよっとお母さん！

もうっ、はぁ・・・私はお邪魔らしいから家に帰ってるね」

「それじゃあまた夜に来るからごゆっくり」